

日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））

「3D石器形態研究の確立による日本列島後期旧石器時代の生活・技術・文化の解明」公開事業

考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン

#01

予稿集

目次

埋蔵文化財調査における写真計測(SfM/MVS)の活用～初級者が思ったこと・感じたこと～

轟 直行（八千代市教育委員会）3

石器の3D計測、成果の公開・共有を目指して

野口 淳（NPO 南アジア文化遺産センター／奈良文化財研究所客員研究員）9

埋蔵文化財・史跡整備における3Dの活用と公開について

仲林篤史（東大阪市教育委員会）12

本予稿集は、クリエイティブコモンズ・ライセンス表示 4.0 国際（CC BY 4.0）の下で刊行・頒布されます

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>



〈出版情報〉

タイトル 第1回考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン予稿集

著者 野口 淳、轟 直行、仲林篤史

編集・発行 考古形態測定学研究会

（代表連絡先：野口 淳、asiansophia@gmail.com）

発行日・版 2019年6月14日 改訂公開版

ライセンス クリエイティブコモンズ・ライセンス表示 4.0 国際
(CC BY 4.0)

